

■田中正造 政治家，社会運動家。自ら得た利益を公共運動にと，足尾銅山鉍毒反対運動に命掛け，公害闘争を先駆。

たなかしょうぞう

天保改革始・1841＝ 下野国安蘇郡小中村(佐野市)の名主の子に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 4歳：

国定忠治磔・1850＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝12歳：

赤尾小四郎塾で学び，

五ヶ国条約・1858＝17歳：父の割元昇進に伴い，あとを継いで小中村名主になる。

安政の大獄・1859＝18歳：

桜田門外変・1860＝19歳：

8月18日政変 1863＝22歳：結婚後，領主六角家の改革運動に加担させられ，

薩摩藩士密航1865＝24歳：改革の上書を主家に提出して，名主を免じられ，

明治維新・・1868＝27歳：六角家主人の引退を求める嘆願書を提出したため，逮捕投獄され，

戊辰戦争終・1869＝28歳：釈放されて小中村に戻る。友人に勧められて，

初の日刊新聞1870＝29歳：江刺県(秋田県鹿角市)の下級官吏になると，百姓の貧窮に驚いて，救助米配給を獲得するが，

廃藩置県・・1871＝30歳：上司暗殺の冤罪事件で再び投獄され，拷問を受けるうち，

学問のすすめ1872＝31歳：監獄則が施行されて待遇が改善され，獄中で「西国立志編」などを読む。

明治6年政変 1873＝32歳：

佐賀の乱・・1874＝33歳：嫌疑が晴れてようやく出獄，帰郷して近在の青年教育に尽力する。

西南戦争・・1877＝36歳：古河市兵衛が足尾銅山の経営を始めた年。西南戦争で物価が上昇することを見抜いて，土蔵や納屋などを売って土地を購入し，3000円の利益を得たが，それを自分の営利的事業に使わず，毎年120円ずつ35年間公共的運動に用いることを誓い，

大久保暗殺・1878＝37歳：*{栃木新聞}を創刊し，政治への専念を決意。

琉球処分・・1879＝38歳：県会議員に落選したが，栃木県の自由民権運動の中心的役割を果たす{中節社}を組織し，

・・・・・1880＝39歳：補欠選挙に再出馬して当選，以後7回連続当選，

明治14年政変1881＝40歳：

新体詩抄・・1882＝41歳：立憲改進黨に入党。

秩父事件・・1884＝43歳：(足尾銅山の生産量が日本一になる)三島通庸県令の圧政と闘い，<加波山事件>に連座して入獄。

内閣発足・・1885＝44歳：(渡良瀬川洪水，魚が大量に死ぬ。以降，毎年のように洪水が起こる)

帝国大学始・1886＝45歳：県会議長に選ばれる。

帝国憲法発布1889＝48歳：(渡良瀬川洪水)帝国憲法の発布の式典に参列。

帝国議会始・1890＝49歳：(渡良瀬川大洪水，鉍毒被害甚大。吾妻村，公益に害ありと足尾銅山停止を上申)。第1回総選挙で栃木県第3区衆議院議員に当選，以後6回連続当選。

足尾鉍毒始・1891＝50歳：足尾鉍毒被害地を調査，第二議会で最初の足尾鉍毒問題についての質問を行い，以後も質問権を最大限に行使して追及し続ける。北海道炭鉱鉄道会社問題など内政，外交両面にわたり藩閥政府を痛烈に批判。

大本教・・・1892＝51歳：(鉍毒被害農民と古河市兵衛との間に示談交渉始まる)

日清戦争始・1894＝53歳：

日清戦争終・1895＝54歳：<日清戦争>後，鉍毒被害の拡大，激化にともない，

八幡製鉄始・1897＝56歳：*被害農民の“押出し”，大挙上京請願運動と議会活動とを結合して政治闘争を展開。

子規句歌革新1898＝57歳：政府による懐柔策たる議員の歳費値上案に反対し，可決後は報酬を全額辞退し，収入が無くなる。

ピアノ国産化・1900＝59歳：(毎日新聞に足尾鉍毒問題連載)。第4回大挙上京請願の途次，<川俣事件>が発生，その公判であくびをして官吏侮辱罪に問われる。

田中正造直訴1901＝60歳：(婦人や学生の鉍毒反対・被害民救済運動が盛り上がり，古河市兵衛夫人が投身自殺)。権力の大弾圧<川俣事件>によって退潮した鉍毒反対運動を活性化するため，議員を辞職。天皇に直訴状(執筆は幸徳秋水に依頼)を提出しようとしてさえぎられる。

教科書疑獄・1902＝61歳：<あくび事件>に重禁固の刑，服役中新約聖書を読む。

日比谷公園・1903＝62歳：(古河市兵衛が死去)

日露戦争始・1904＝63歳：*谷中村の遊水池化に抵抗するため孤立した谷中村に入り，悪弊一洗土地復活青年会を組織。以降，谷中自治村の復活に“亡国日本”の再生をかけた。その過程で非戦論，社会主義，キリスト教への理解を深めつつ，国家廃絶，個人の自由を根幹にした独特の自治思想に到達した。

日露戦争終・1905＝64歳：

満鉄発足・・1906＝65歳：七反歩の土地所有者となり，一坪地主運動が広がる。

この間，谷中村住民の立ち退き，土地収用法適用，残留民への強制破壊などがある。

韓国併合・・1910＝69歳：関東大洪水となり，調査を開始。以後，治水問題の持説を深める。

大逆事件判決1911＝70歳：天国への道ぶしんを始める。さらに“下野治水要道会”をおこすなど，終生，利根，渡良瀬両川の治水問題に献身。農民とともに闘い，義人と称せられるが

明治天皇没・1912＝71歳：

大正政変・・1913＝72歳：*癌のため病床に伏し，河川調査の帰途，没した。葬儀には5万余の農民が参列した。

岩波ジュニア新書「田中正造」，「日本史を変えた人物200人」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，